

中国の記事から（畜産）

2007年1月31日号

目次

◎民革広東省委員会「省が植物利用するバイオディーゼルは低コスト」

【中国化工報 2007年01月24日】

◎香港、旧正月対応で2月10～16日の本土鶏輸入を拡大

【国際商報 2007年01月25日】

◎民革広東省委員会「省が植物利用するバイオディーゼルは低コスト」

【中国化工報 2007年01月24日】

民革（中国国民党革命委員会）広東省委員会は23日、同委員会が編んだ「広東省の発展とバイオディーゼル産業構築に関する提案」の中で、広東省で自生する300種以上の植物は豊富な油脂を含んでおり、これらを活用したバイオディーゼルの生産コストは4000元／1トンと、現在の販売価格4570元／1トンを大きく下回る競争力を持つとの認識を示した。「提案」は、トリハハゼノキ、オオアブラギリ、アブラツバキ、ヒマ（蓖麻）など広東省の300種以上の植物は油脂が豊富で、収穫期も1～5年と短いという特長があると指摘。

広東省西部で防風林として栽培されているナンヨウアブラギリは果実に50～80%の油脂を含み、簡単な加工で1ムー（1ムーは6.6アール）あたり500kgのバイオディーゼルが生産できるとしている。また、これら植物の栽培によって緑化が進み生態環境改善も進むとしている。

◎香港、旧正月対応で2月10～16日の本土鶏輸入を拡大

【国際商報 2007年01月25日】

香港特別行政区政府（香港特区）衛生福祉食物局は22日、香港での鶏供給量の減少、需要拡大を受け、旧正月（2007年2月18日）までに中国本土からの鶏輸入上限を引き上げていくとの方針を発表した。輸入上限は現在の1日2万羽から2月10～13日に6万羽、14～16日に8万羽に

拡大していく計画である。2月20日以降は元通り1日2万羽としていく。輸入上限の引き上げによって、鶏価格安定を図るのがねらい。

しかし、広東省または香港で鳥インフルエンザが発生した場合、香港は鶏の輸入を停止としている。また、関係部門は旧正月期間中の家禽密輸取り締まりを強化していく。

本情報は、株式会社日本能率協会総合研究所により
翻訳された中国の新聞記事をもとに、同社の許可を得て
独立行政法人農畜産業振興機構が整理したものです。